

- 佐賀県教育の合言葉「ほめるから、はじめる。はじまる」の実践にあたっては、**子供の努力を評価する取組を学校や家庭だけでなく、地域の協力も大切になってくる。**地域の人たちもその理念を理解し、子供たちを認めほめてほしい。
- 授業において、今学んでいる学習内容から、「昨年の学習内容」や「家庭学習の内容」など、これまでの学習や経験を想起させ、**学びの「連続性」を子どもが実感できるようにする。**
- 教師は、子供が家庭学習を「やる意味」を見出せるように、学校の授業と家庭学習との**つながり**を更に深く考えることが必要である。
- 子供が家庭学習を**取り組んでみたくなる工夫**をする。
- 先生方は**家庭学習の目的や方法等**を子供たちにしっかりと伝えていく必要がある。
- 生成AIの急速な進化が気になる。**自分で考え、答えを出す、そのようなことを実感する経験や学び**がないと、安易に生成AIに頼ろうとし、学ぶ意味や意義をもてないのではないか。
- 学校の宿題は、その質と量が**果たして学力向上につながっているのか**、検討が必要ではないか。
- 学力向上の取組は、時間は掛かるかもしれないが、**継続していく**ことで、改善していくのではないかと期待している。